

2017年1月4日(水)

北摂

太閤道

単独行

コース距離: 13.9Km

所要時間: 4時間04分(休憩含む)

コースタイム: 自宅(9:46)→(10:16)若山神社→(11:00)島本展望所→(11:09)若山→(11:23)北摂展望所→(11:37)分岐→(11:54)悠久の丘→(12:12)公園墓地公園墓地(12:44)→(12:51)磐手橋→(13:50)自宅

山行軌跡



行程グラフ



* 山行記

今年の初山行は太閤道へ、昨日に行こうと思っていたが何時も山行時前日にザックを準備していなければ行けていない、準備と言っても数分で出来上がるのだが。

今日は前日に準備して玄関先にザックを置いて当日コーヒーを沸かして入れるだけ、そして簡単に食事を済ませて9時46分自宅を出て若山神社へ30分で到着して太閤道に太閤道はハイキングコースになっているが稜線から四ツ辻までの間は歩いている時に躓きや滑りやすい道である、コースわきのゴルフ場からコースを外れたゴルフボールを探してしまうので足元が疎かになってしまうので注意が必要である。

11時島本の展望所に到着するが今日は雲が垂れ込めて展望は望めないのですぐに先に進む北摂の展望所も同じく展望はなしでここで初めて水分補給して先に進む。

展望所から登山道に戻り進むとすぐに下りとなる、分岐に出て右が金竜寺跡へのコースであるが左の道を選択して悠久の丘を目指す、道ははっきりとしているが急登を下るのでここも足を滑らさない様に慎重に下って行く、灌木の隙間から新名神の道路を見ながら下って行く。

11時54分悠久の丘に出るこの下は公園墓地になっている、墓地を避けて磐手杜神社への道を探すが見つからず一旦公園墓地の道路に出て下り道を探し下ってみるがまだ新名神の取り付け道の工事が進んでいなく通れなくなっているの戻って公園墓地の道路を使って下る。

今回は下る道を探したので安満宮山古墳を観ずに帰ることになる、斎場への分岐に来ると名神の工事で新しい道路が出来ているのが見渡せ下って降りると金竜寺跡のコースと同じ下山口の磐手橋に出る。

桧尾川に沿って歩き西国街道に出て自宅まで歩いて帰宅する。



若山神社への参道
ツブラジイの古木が多く存在している。



島本の展望所より雲が垂れ込めて
展望が効かない。



若山の三等三角点



悠久の丘方面に下山して行く



灌木の隙間から新名神の道路が見える。



下山道より日吉台の住宅地



悠久の丘
奥の階段状から降りて来た。



磐手杜神社への道は削られて下りる事は出来なく、取り付け道路もまだ整地も出来ていない。



高槻斎場入り口付近より
新名神の道路が見える。



山側の取り付け道路はまだだが東側は出来上がりがつつある。

磐手杜神社への入口

